



韓国とのオンライン合同授業（5年生）

校長がユネスコで韓国に出張に行ったことをきっかけに、2学期から韓国のマンデ小学校の5年生、ソムガン小学校の6年生と国際交流をしています。1回目のオンライン授業では、それぞれの学校を紹介し合い、日本と韓国の違いを学びました。14日（火）は、2回目のオンライン授業で日韓合同の図画工作科「韓国のボンサンタルというお面を作ろう」を実施しました。韓国の伝統的な紙「韓紙」や、お面の型をいただき、絵の具を使ってお面を作りました。日本のお面とは違った個性あふれる作品がたくさんでき、国境を越えて楽しく交流することができました。来月もオンライン授業を行う予定です。



ミュージカル鑑賞「ゾンビガール」（3年）

3年生が、ニッセイ文化振興財団が全国で開催している小学生のための芸術鑑賞教室「ニッセイ名作シリーズ」で「リトル・ゾンビガールーノノとショウと秘密の森」を鑑賞しました。人間と平和な共存を目指して立ち上がったかわいいゾンビと人間の子もたちの勇気と友情の物語で、家族そろって口ずさめる NHK「みんなのうた」の歴代の名曲を全編に散りばめたミュージカルです。鑑賞後の子どもたちからは、「泣きそうになった」「感動した」「ミュージカルに興味が出た」「ミュージカル俳優になりたい」などの感想があがっていました。子どもたちにとって「ほんもの」と出会える貴重な体験になりました。



校長講話



「あいさつの嫌いな王様」という物語を通して、あいさつの大切さを伝えました。「みんなから慕われていた王様は、朝から晩まであいさつをされることが面倒になり、あいさつをした者はろうやに入れるというおふれを出しました。国中は大騒ぎ。あいさつができなくなった国は、いつの間にか暗くてさびしい国になってしまいました。あいさつを禁止した王様も、日に日に元気がなくなりました。何日かたった朝、王様は、ばったり会った家来について「やあ、おはよう！」とあいさつをしてみます。そのとき王様は、あいさつをすることの気持ち良さに気付きます。王様は自分のまちがいをあやまり、自分から進んであいさつをするようになりました。それからその国は、みんなのあいさつが飛び交う、ずっとずっと笑い声のあふれる楽しい国になりました。」というお話です。自分から進んであいさつをし、お世話になっている方にあいさつやお礼の言葉を言えるようご家庭でもお声掛けをお願いします。